

重点項目	学習活動(学習指導)	
重点課題	主体的・対話的で深い学びを引き出す授業の推進	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・基礎・基本が定着していないことから、学習に対して自信を持ってない生徒が少なくない。「主体的・対話的で深い学び」を意識した授業を通して、学力がついたという実感を与えたい。 ・ICT 機器を用いるなど、分かりやすい授業を心がけているが、提示された内容をノートに書き写すことに終始し、自分の考えを発表することを躊躇する生徒が多い。 	
達成目標	① 目標をもって授業に臨み、主体的に取り組むことで学力がついたと自己評価する生徒の割合	② 互見授業に年間3回以上参加し、授業改善や生徒理解につながったと感じる教員の割合
	60%以上	70%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT 機器やアクティブ・ラーニングの手法を取り入れて、生徒が目標をもって授業に参加し、主体的に学ぶ姿勢を育てる。 ・「主体的・対話的で深い学び」を実現する指導法の研究のため、2週間の互見授業期間を年に2回設定し、相互評価や意見交換を行うことで授業改善を行う。 	
達成度	① 1学年：81.3% 2学年：66.2% 全学年平均 3学年：75.3% 73.5%	② 78%
具体的な取り組み状況	①生徒がわかる喜びを感じて自信を持てるように、授業を進める速さに配慮したり、生徒同士で確認し合う時間を設けたりした。ICT 機器に関しては、教員が使うだけでなく、生徒自身が ICT 機器を用いてプレゼンテーションをする活動を取り入れる授業が増えた。 ②6月と11月に2週間の互見授業期間を設け、期間中は原則すべての授業を公開とし、空き時間に無理なく参観できるようにした。また、この期間以外でも担当者の了承を得て、参観できるようにした。参観した授業については、授業内容や参考になった点を入力し、教員間で共有できるようにした。	
評 価	① A	② A
	「授業は興味がわき楽しい」と回答した生徒は49.7%（昨年度48.4%）。「先生の説明が分かりやすく、授業の内容が理解できる」は76.7%「授業の進む速さはちょうどいい」は80.9%と高い割合になっている。	年3回以上参観した教員は27名中21名だった。参観した授業の一覧により、自分が参観できなかった授業についてもその内容や工夫されている点を知ることができ、参考になった。
学校評議員の意見	学習に対し、自信が持てない生徒が少なくない中、授業に興味を持ち、楽しいと感じる生徒が半数近くいることは素晴らしいと思う。「学力がついた」と自己評価する生徒の高い割合を維持し、次年度は目標値を上げて更なる向上を図ってほしい。 互見授業は良い活動だと感じるが、多忙で参加が難しいのであれば、ビデオ撮影したものを共有することも考えてみればどうか。	
次年度に向けての課題	授業については、進む速さやわかりやすさ、興味喚起に関しての項目においてアンケートでは肯定的な意見を持っている生徒が多く、「学力がついた」という自己評価につながっている。しかし、実態は家庭学習時間が1時間未満の生徒が70%を超えており大半の生徒が学習内容の定着に至っていないと考えられる。授業で理解できたことを家庭学習につなげていけるような仕組みを作っていくことを考えたい。	

令和6年度 伏木高等学校アクションプラン -1 (2) -

重点項目	学習活動(国際理解教育)																																																																																																																																				
重点課題	国際交流活動の推進																																																																																																																																				
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・国際交流活動に必要な英語の基礎力を身につけるため、授業の他に本校独自のSETプログラム(毎朝5分の英語放送)を行っている。 ・第2外国語として学んでいる、中国語、韓国語、ロシア語を活かし、友好校との交流を促進し、国内・海外研修を充実したものとする。 																																																																																																																																				
達成目標	① SETプログラムに積極的に取り組む。	③ 国際交流活動に積極的に取り組み、充実感を得る。																																																																																																																																			
	② 第2外国語の学習に積極的に取り組む。	(感想より)																																																																																																																																			
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・SETプログラムへの生徒全員参加の取り組み。 ・海外語学研修の実施の持続可能な取り組みに向けての努力と工夫。 ・姉妹校・友好校との関係継続のためのオンライン交流の促進。 ・受入れにともなうホームステイの方向性の確認。 ・効果的な情報発信への模索。(学校HPなど) 																																																																																																																																				
達成度	①SETへの取り組み	語学研修の充実																																																																																																																																			
	<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>総計</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>一生懸命だった</td> <td>19</td> <td>30</td> <td>40</td> <td>89</td> <td>41.2</td> </tr> <tr> <td>まあまあ一生懸命だった</td> <td>27</td> <td>35</td> <td>46</td> <td>108</td> <td>50.0</td> </tr> <tr> <td>あまり一生懸命でなかった</td> <td>2</td> <td>5</td> <td>5</td> <td>12</td> <td>5.6</td> </tr> <tr> <td>一生懸命でなかった</td> <td></td> <td>4</td> <td>2</td> <td>6</td> <td>2.8</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>0.5</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>48</td> <td>74</td> <td>94</td> <td>216</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>②第2外国語への取り組み</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>1年</th> <th>2年</th> <th>3年</th> <th>総計</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>充実していた</td> <td></td> <td>29</td> <td>33</td> <td>62</td> <td>38.8</td> </tr> <tr> <td>まあまあ充実していた</td> <td></td> <td>39</td> <td>46</td> <td>85</td> <td>53.1</td> </tr> <tr> <td>あまり充実していなかった</td> <td></td> <td>4</td> <td>5</td> <td>9</td> <td>5.6</td> </tr> <tr> <td>充実していなかった</td> <td></td> <td></td> <td>3</td> <td>3</td> <td>1.9</td> </tr> <tr> <td>無回答</td> <td></td> <td>1</td> <td></td> <td>1</td> <td>0.6</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td></td> <td>73</td> <td>87</td> <td>160</td> <td>100.0</td> </tr> <tr> <td>3年で第2外国語選択なし</td> <td></td> <td>1</td> <td>6</td> <td>7</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		1年	2年	3年	総計	%	一生懸命だった	19	30	40	89	41.2	まあまあ一生懸命だった	27	35	46	108	50.0	あまり一生懸命でなかった	2	5	5	12	5.6	一生懸命でなかった		4	2	6	2.8	無回答			1	1	0.5	総計	48	74	94	216	100.0		1年	2年	3年	総計	%	充実していた		29	33	62	38.8	まあまあ充実していた		39	46	85	53.1	あまり充実していなかった		4	5	9	5.6	充実していなかった			3	3	1.9	無回答		1		1	0.6	総計		73	87	160	100.0	3年で第2外国語選択なし		1	6	7		<table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>韓国</th> <th>台湾</th> <th>北海道</th> <th>不参加</th> <th>総計</th> <th>%</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>とても充実していた</td> <td>39</td> <td>9</td> <td>7</td> <td></td> <td>55</td> <td>75.3</td> </tr> <tr> <td>充実していた</td> <td>4</td> <td>3</td> <td>9</td> <td></td> <td>16</td> <td>21.9</td> </tr> <tr> <td>充実していなかった</td> <td>1</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>(空白)</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>1</td> <td>1</td> <td>1.4</td> </tr> <tr> <td>総計</td> <td>44</td> <td>12</td> <td>16</td> <td>1</td> <td>73</td> <td>100.0</td> </tr> </tbody> </table> <p>補足</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2外国語への取り組みが充実していなかった理由 難しい・わからない 9名 実用的ではない 1名 ・語学研修非充実…不参加生徒 		韓国	台湾	北海道	不参加	総計	%	とても充実していた	39	9	7		55	75.3	充実していた	4	3	9		16	21.9	充実していなかった	1				1	1.4	(空白)				1	1	1.4	総計	44	12	16	1	73
	1年	2年	3年	総計	%																																																																																																																																
一生懸命だった	19	30	40	89	41.2																																																																																																																																
まあまあ一生懸命だった	27	35	46	108	50.0																																																																																																																																
あまり一生懸命でなかった	2	5	5	12	5.6																																																																																																																																
一生懸命でなかった		4	2	6	2.8																																																																																																																																
無回答			1	1	0.5																																																																																																																																
総計	48	74	94	216	100.0																																																																																																																																
	1年	2年	3年	総計	%																																																																																																																																
充実していた		29	33	62	38.8																																																																																																																																
まあまあ充実していた		39	46	85	53.1																																																																																																																																
あまり充実していなかった		4	5	9	5.6																																																																																																																																
充実していなかった			3	3	1.9																																																																																																																																
無回答		1		1	0.6																																																																																																																																
総計		73	87	160	100.0																																																																																																																																
3年で第2外国語選択なし		1	6	7																																																																																																																																	
	韓国	台湾	北海道	不参加	総計	%																																																																																																																															
とても充実していた	39	9	7		55	75.3																																																																																																																															
充実していた	4	3	9		16	21.9																																																																																																																															
充実していなかった	1				1	1.4																																																																																																																															
(空白)				1	1	1.4																																																																																																																															
総計	44	12	16	1	73	100.0																																																																																																																															
具体的な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・複数教員による本校独自のSETプログラムを行った。(第2外国語含む) ・海外/国内語学研修を実施した。(2学年対象12月) ・7月に韓国清明高校の生徒38名が来校して式典、HR、文化活動等を通して交流した。その際、ホームステイも実施した。 ・ロシア第2ギムナジウム学校、姉妹校大連十二中学とzoomを用いて交流した。 ・世界の料理体験(中国、韓国、ロシア)を実施した。(3学年対象2月) ・学校ホームページに国際交流事業に関連する活動を発信。 																																																																																																																																				
評 価	① A	② A																																																																																																																																			
	「一生懸命」と「まあまあ一生懸命」を合わせて91.2%であった。	「充実」と「まあまあ充実」を合わせて91.9%であった。																																																																																																																																			
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・(生徒数減少を受け)外国人生徒の受け入れ(入学)は可能か? ・コロナ渦と現在で、国際交流の取り組みがどう変化したのか知りたかった。 ・県下唯一の国際交流科単独校としての自負を持って、その存在意義を高めるべく不断の努力をお願いします。対外的にもっと発信してもよいのでは。 ・伏木高校が、呉西地域の中学・高校の国際交流をけん引する教育機関のひとつになって、高校再編の波を越えてほしい。 <p>国際交流後の生徒の作成するレポートを、中学生に呼んでもらうことを想定した内容にして、伏木高インスタで公表して、留学や国際交流の面白さや難しさのアーカイブになるだけでなく、中学生に向けた高校情報発信になるように思う。学校の報告感のある公表よりも、高校生の元気なポップ入りレポートにしてもらった方が、元気な伏木高校の雰囲気伝えられると思う。</p>																																																																																																																																				
次年度に向けての課題	評議員の方々から様々な意見をいただき、生徒の充実感を高めつつも、対外的、効果的な発信に努めたい。																																																																																																																																				

(評価基準) A:達成した B:ほぼ達成した C:あまり達成できなかった D:達成できなかった

重点項目	学校生活(生徒指導、保健衛生)	
重点課題	基本的な生活習慣の定着とコンプライアンスの徹底、環境美化と健康への意識向上	
現 状	<p>【基本的な生活習慣の定着】</p> <p>基本的な生活習慣の定着とコンプライアンスの徹底を目指し、授業、生徒会活動、学校行事、部活動など学校生活のあらゆる機会を通して指導している。制服の着こなしは概ね良好であるが、挨拶に躊躇している生徒もみられる。</p> <p>【環境美化と健康への意識向上】</p> <p>環境美化活動への意欲的な参加や取り組みについて生徒の意識は高まっており今後も継続的に活動を行っていききたい。学校生活を健やかに送るため、基本的な生活習慣の確立を目指して生活の中で食事、運動、睡眠休養など健康への意識を高めていきたい。</p>	
達成目標	① 生活全般におけるモラル意識の向上 95%以上	①清掃など環境美化活動へ意欲的に参加したという生徒の増加 ②学校生活の中で健康への意識が向上したという生徒の増加
方 策	<p>【モラル意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 学校生活調査を年間2回実施し、現状の把握に努め、個人面接やHR、全校・学年集会において生活習慣の改善の啓発に努める。 保護者に理解と協力を得ながら、全教職員が粘り強く指導に取り組む。 <p>【環境美化と健康への意識向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 生徒対象にアンケートを実施し、清掃活動の取り組み状況を把握する。美化週間などの活動を通して、環境美化活動やゴミ捨てマナーの意識付けを図る。 食事、運動、睡眠休養など生徒の生活習慣の実態を把握し、健康的な学校生活を送れるよう保健委員会など生徒主体の活動を通して意識の向上に取り組む。 	
達成度	服装や身なりを整える 96% 時間を守る 96% 公共の場でのマナー 97% あいさつ励行 98%	・清掃に真面目に取り組んだ R5 93.1%→R6 95.8% ・健康的な生活を送っている R6(9月) 93.4% →健康的な生活を意識している R7(1月) 99%
具体的な取り組み状況	<p>【モラル意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 日頃から生徒への声掛けを全教職員が行ったり、集会時にマナー意識について生徒に考えさせたりしている。 スーパーモラル顕彰制度を利用して毎学期、該当生徒を表彰している。 <p>【環境美化活動の充実と健康意識の向上】</p> <ul style="list-style-type: none"> 集会や美化週間の機会などを捉え、保健委員会生徒から全校生徒へ呼びかけ、清掃やゴミ捨てマナーなど環境美化の意識を高めて積極的な活動を促している。 文化祭や生徒保健委員会を中心に生徒の学校生活の中で健康意識が高まるよう働きかけた。特に日々の生活に運動を取り入れられるように展示などを工夫している。 	
評 価	A	A
	・各観点において生徒のモラル意識が高い。	・生徒は環境美化や健康について、意識を高く持って活動している。継続していきたい。
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> 生徒アンケート(自己評価)以外の評価方法を取り入れられたら、よりよいのでは。 カロリー表示などを掲示しているのは目に見えてわかりやすい。引き続き高い達成度を維持できるよう取り組みを工夫してほしい。 	
次年度向けの課題	<ul style="list-style-type: none"> 社会的モラルの意識向上は、重要な取り組みなので、今後も注力してだけでなく、自己評価以外の評価方法についても検討していく必要がある。 集会や美化週間など保健委員会生徒の主体的な活動や呼びかけによって清掃や環境美化の意識向上や行動につながるよう努める。 高校生が考える健康的な生活について、今年度の「日々の生活に運動をプラスしてみよう」の取り組みのように具体的な項目に焦点をあてて健康意識の向上を図る。 	

重点項目	進路支援（進路指導）	
重点課題	進路目標の明確化と進路実現	
現 状	<ul style="list-style-type: none"> ・自己の適性に合った進路目標を抱くことができるように、進路に関する情報提供の機会を多く持ち、個々に寄り添った面談を重ねるように努めている。 ・進路目標の決定を早期に行うことにより、各自の課題を明確に把握し、日々の学習に対するモチベーションの向上に努めている。 	
達成目標	① 2年次で経験するインターンシップやオープンキャンパスなどに積極的な参加ができた生徒の割合	② 第3学年の進路決定について、満足のいく進路実現ができた生徒の割合
	80%以上	90%以上
方 策	<ul style="list-style-type: none"> ・進路関係行事、総合的な探究の時間等を利用し、進路意識を高め、早期に進路目標を明確にさせるよう努める。 ・2年次に行うインターンシップやオープンキャンパスなどへの参加を、進路選択の貴重な体験の場として位置づける。積極的かつ意欲的な参加を通して、具体的な目標へと結びつけることができるようサポートに努める。終了後は、レポート作成やプレゼンテーションを行うことを通じて、生徒同士が多くの情報を共有し、互いに刺激し合いながら自己の適性を把握し進路意識の向上を図る。 ・面談を重ねることで、現実を客観的に把握し、将来にむけての課題を明確にさせる。 	
達成度	① 87.8%	② 98.4%
具体的な取り組み状況	<ul style="list-style-type: none"> ・2学年については、1学期の事前指導のもと、夏休みに就職・進学ともに各自の進路を具体的にイメージした活動を行うことができた。特にインターンシップは、各自の希望を最優先した体験先を地元企業の協力を得て新規に獲得でき、積極的な就労意欲に結びついた。 ・3学年については、自己実現に向けて努力した生徒たちの満足度の高さが読み取れる結果となった。 	
評 価	① A <ul style="list-style-type: none"> ・目標を早期に抱くために、まずは2年の夏休みに具体的な行動を起こすことが鍵となると考える。自らが積極的に参加した経験が、今後の進路選択に繋がると期待する。 	② A <ul style="list-style-type: none"> ・進路内定者の中でも「とても満足のいく進路決定ができた」と回答する者が62%を越えている。生徒の努力は勿論のこと、学校全体で、教職員一丸となってサポートした成果であると思われる。
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・生徒は就職・進学と揺れ動き、多感な時期で大変だとは思いますが、引き続き、一人ひとりを大切にして、全員に寄り添った指導をお願いしたい。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・個々の進路実現については、早期の目標設定が欠かせない。高みを目指す進路実現のためには、相当の準備期間が必要である。積極的に経験したことをもとに将来像を描き出すことによって、自身がなすべきことへの気づきに繋げていかせたい。 	

重点項目	特別活動(地域交流活動と読書指導)	
重点課題	地域交流活動の活性化と読書教育の充実	
現 状	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <p>本校では地域交流活動として地域の方々と関わりながら行うボランティア活動などを数多く実施しており、生徒の成長を育んでいる重要な活動の一つとなっている。多くの学びや体験を求め、交流活動に意欲的に参加する生徒を育てたい。</p> <p>【読書教育の充実】</p> <p>本校生徒は読書体験が少なく、その効用や楽しさを経験していない人が多い。図書委員会の活動を活発に行い「BOOK TALK」や「図書だより」等の広報活動を通じて、落ち着いて積極的に読書に親しむことができる環境を整えたい。</p>	
達成目標	① 生徒が地域交流活動に参加して充実感を感じ、意義ある活動と捉える。 (事後アンケートで調査)	② 読書活動に積極的に参加できた生徒の割合 70%以上 (事後アンケートで調査)
方 策	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域活動への参加を積極的に呼びかけ、例年以上の参加率を目指す。また、地域活動の中で、生徒が地域の課題に気付き、自分たちでできることを見つけ、それらに自ら取り組んでいけるようサポートする。 <p>【読書教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新入生への図書館オリエンテーションの実施と図書館の読書コーナーの内容や展示の仕方を工夫したり、図書委員会で図書館の利用を促進するための企画をしたり、広報活動を行ったりする。 	
達成度	① 参加生徒 R5:48% → R6:52% 充実感を感じた生徒 R5:92% → R6:95%	② 朝読書に積極的に参加できた生徒の割合 78.9%
具体的な取り組み状況	<p>【地域交流活動の活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の諸活動に(中止になったものは除き)例年どおり参加させていただいた。またさまざまなボランティア活動にも取り組んだ。 <p>【読書教育の充実】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各クラスの生徒図書委員が朝読書の呼びかけやポスターの作成、学級文庫の管理を行うよう指導した。 ・生徒図書委員からの意見やアイデアを盛り込んだ「BOOK TALK」や「図書だより」を作成・発行し、図書館の利用を促進する。 ・朝読書の期間中は学級文庫を設置し、本を持っていない生徒も必ず図書館の本を手にする機会を設けた。 	
評 価	A	A
	参加した9割以上の生徒が充実感を感じている。来年度参加したい生徒も8割以上。	図書委員による朝読書の呼びかけや学級文庫が効果的に機能したと言える。
学校評議員の意見	<ul style="list-style-type: none"> ・能登地震の影響で、今後はより地域交流の重要性が高まっていくと思う。 ・生徒主体の図書委員会の活動によって、引き続き生徒の顔が見える活動を継続して取り組んでいって欲しい。 ・やはり読書は本を手にとって行うのがよいと感じました。 	
次年度に向けての課題	<ul style="list-style-type: none"> ・今後もボランティア活動を中心に、地域との交流を継続していきたい。奉仕の精神慣用だけでなく、地域防災の観点からも、交流活動の意義や必要性を生徒に伝えていくことが大切である。 ・今後も図書委員会の活動を活発に行い、生徒の意見やアイデアを盛り込んだ「BOOK TALK」や「図書だより」を作成・発行し、図書館の利用を促進する。 ・朝読書の活動が、一部の生徒だけでなく学校全体で取り組むことができるような環境を整えることが大切である。 	